

FAX 0238(22)
〈印刷所〉 有限会社 富士印刷



米沢女子短期大学英語英文学科教授 北山 長貴

学長あいさつ



山形県立米沢栄養大学
山形県立米沢女子短期大学
学長 阿部 宏慈

教育振興会の皆さまには、日頃より米沢栄養大学および米沢女子短期大学の教育、運営に、ご理解ご支援をたまわり、心より御礼申し上げます。

両大学卒業生の進路状況は、引き続き順調に推移しており、昨年度も、ほとんどの学生が、就職や編入学など、自身の希望に沿った形で新しい道に進むことができました。本学のキャリア支援の成果であろうと嬉しく思うとともに、教育振興会のご支援あつてのことと感謝いたしております。

さて、ご承知の通り、新型コロナウイルス・ウィルス感染症の拡大を受け、その卒業生たちの旅立ちを華やかに祝うべく用意されていた卒業式と祝賀会も、新入生を迎えての入学式や研修旅行も、規模の縮小あるいは中止を余儀無くされました。

緊急事態宣言や県境を越えての移動制限もあり、学生が一堂に会して、教員とともに学びの日々を送る機会も得られないまま、六月からは、遠隔方式により新学期の授業を開始しました。

幸い、七月からは、教室の変更や手指消毒の徹底など感染症対策を施したう

えて、何とか対面式による授業も再開するに至りました。学生さんたちに少しでも良い学びの環境を与えたいと頑張りましたが、これもまた学生さん自身、保護者の皆さま、さらには本学を支える多くの方々からのご理解と有形無形の励ましを受けてのことでした。

さて、申し遅れましたが、私はこの四月から両大学の学長を拝命しました阿部宏慈です。米沢女子短期大学は、人文・社会系の教育研究において実績を重ね、米沢において、六十八年の長きにわたり大きな存在感を示しております。全国的にも数少なくなりつつある文系の公立女子短期大学として、今後は時代のニーズや新たな教育理念をも視野に入れつつ、発展していければと考えております。

米沢栄養大学は、山形県で唯一の管理栄養士施設として平成二十六年に設立され、百二十名をこえる卒業生を送り出し、三月には初の大学院修士課程を輩出しました。健やかで喜びに満ちた人生を謳歌するというあるべき地域の未来を、栄養管理という面からサポートできる人材を生み出していくつもりです。優れた栄養管理は、感染症などに対しても強い健康な社会を作るのにも重要な役割を担うでしょう。

教育振興会の皆さまにおかれましては、この困難な状況下ではありますが、引き続き本学の教育活動を暖かく見守りいただければ幸いです。今後とも、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新入生の声

山形県立米沢栄養大学
健康栄養学部 健康栄養学科

1年 佐藤 実佐子

本来の7月であれば、入学式から3か月が経ち大学生活にも大分慣れてきた頃でした。今年には新型コロナウイルスが世界中で大流行、山形県内でも多数発生し、希望に満ちた入学式も行えないまま6月からは遠隔授業が始まりました。画面越しでしか会えずにいる同級生の顔を見て通学できる日を待ち遠しく思うと同時に、今後どうなるのだろうと不安を抱え、その3か月間はとても長く感じられました。7月より対面授業が始まり、勉強の仕方や時間の使い方などまだ慣れないことも多いのですが、大学の講義は内容が濃く、新たな環境で新たな友達と過ごせる今は一日の重みを実感し、充実感を覚えています。

米沢栄養大学で過ごす4年間は、管理栄養士の国家資格取得という同じ目標をもった仲間と囲まれ、多くの刺激を受けられると期待しています。サークルやボランティア活動等で多くの人と交流し、様々な経験を積むことで視野を広げていきたいです。支えてくれる方々への感謝を忘れず、管理栄養士として必要な知識と技術、教養を身に付け、将来活躍できる人材となれるよう頑張ります。

山形県立米沢女子短期大学
社会情報学科

1年 安達 れな

どんな人と、どんな勉強ができるのだろうと、胸を膨らませ入学式を楽しみにしていました。しかし、コロナウィルスの影響で入学式や研修旅行が中止になり、先が見えない不安な日々を送りました。ようやく6月からオンライン授業、7月からは待ちに待った対面授業が始まりました。今は慌ただしくも学校生活にも慣れ、充実した毎日を送れています。パソコンの画面を通してでは感じ得られない授業の熱気、新しい仲間と笑いあえる時間、人と直接会話しことのできる当たり前の日常に心から喜びを感じます。

さて、私は雑誌の編集者という大きな夢のため、四年制大学への編入学を目指しています。本学の授業と編入学試験の勉強はもちろん、地域活動にも積極的に励みたいと思います。多くの人と関わり、様々な考えに触れ、より多様な価値観を身につけ、目まぐるしく変化する社会を敏感に感じ取れるよう、自分を磨いていきたいと考えています。未来を切り拓いていける大人を目指して。



本年は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、令和二年度通常総会は書面開催となりました。代議員の方々に審議を戴き、次の通り承認されましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

一・令和元年度事業実績及び収支決算について

表1-5のとおり、令和元年度事業実績及び収支決算について承認されました。

二・令和二年度事業計画及び収支予算について

令和二年度事業計画及び収支予算について、表6-10のとおり、承認されました。

三・役員選任について

鈴木敏洋会長が退任され、江口康祐新会長が選任されました。令和二年度の新役員並びに代議員の方々は6ページの通りです。

四・顧問の選任について

本会顧問として次の方が選任されました。

細谷 勢希さん

（平成三十年度本会会長）

鈴木 敏洋さん

（令和元年度本会会長）

五・寄付について

令和元年度の図書整備拡充費により購入した図書（七七九冊）を法人に寄付することについて提案があり承認されました。

なお、コロナ禍の状況において、例年総会終了後に開催する懇親会についても、開催を見送ることとなりました。今後も本会の事業運営につきましまして、より一層のご理解ご協力を宜しく願います。

新しい生活様式の実践例

- ☐ こまめに手洗い ☐ こまめに換気
- ☐ 咳エチケットの徹底（マスク着用）
- ☐ 身体的距離の確保（ソーシャルディスタンス）



- ☐ 3密「密集」「密接」「密閉」の回避
- ☐ 毎朝体温測定・健康チェック
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動、食事、禁煙等適切な生活習慣の理解・実行



不審者に要注意！

教育振興会では今年も、学生の身の安全を守るため、新入生全員に防犯ブザーを配布しました。近年本学周辺では不審者出没の情報が出ており、ブザーを常に携帯して活用戴ければと思います。本学も注意を喚起して参りますが、会員の皆様にもご理解とご指導を賜りたく宜しくお願い致します。

令和元年度 山形県公立大学法人教育振興会 事業実績報告

表1

1. 事業等

(1) 就職・編入学支援関係事業

- ①就職支援員の配置（栄養大・米短大生の就職相談・支援等）
- ②就職・編入学対策講座等の開設支援（講師謝金等の負担）

実施月	講 座 等 名
平成31年4月	編入学対策（英語、小論文）講座（～翌1月まで毎月）、編入試験対策講座、キャリア形成ガイダンス、面接対策及び面接訓練
令和元年6月	小論文添削指導、インターンシップ事前講座、グループディスカッション講座
7月	先輩の話を聞く会（編入学）
8月	英語・小論文模試
9月	模擬面接指導、キャリア形成支援講座
10月	先輩の話を聞く会（就職）、公務員面接練習
11月	就活対策強化講座、社会人基礎力講座
12月	社会人即戦力講座
平成31年1月	内定（合格）体験報告会

③その他

- ・就職・編入学支援関連図書の購入
- ・管理栄養士国家試験対策関連書籍の購入

(2) 学生への助成

- ①公務員模試受験料への助成
（助成額800円／人（受験料1,800円）延べ167名）
- ②全国大会・東北大会参加に係る経費（旅費）への助成 1名
- ③学生の資格取得への助成（延べ245名）

(3) オープンキャンパスの支援

- ①サポート学生への謝礼と交流経費の支出
米短大オープンキャンパス（第1回）7月13日、（第2回）7月28日
栄養大オープンキャンパス（第1回）8月3日、（第2回）8月4日

(4) 教育振興会会報の発行

- 第1号（8/1）、第2号（10/1）、第3号（1/20）、第4号（3/10）

(5) 図書の購入、施設整備

- ①図書・雑誌（学生希望）の購入
- ②施設整備
・サークル活動で使用する多目的利用室などへの冷房設備の設置

(6) その他

- ①学生相談業務（臨床心理士の配置）
- ②携帯用防犯ブザー、学生生活GUIDE、マイキャリアデザインブックの入学者への配布
- ③学生教育研究災害保険付帯賠償責任保険への加入
- ④米沢市市民バス等回数券の助成
1セット2,000円（200円券×10枚）当たり、500円助成（1／4）
- ⑤広報事業（新聞への大学のPR広告掲載）
- ⑥東北地区大学体育連盟への加盟（協力金支出）
- ⑦学生自治会への助成（吾妻祭実施経費）

2. 会議等

(1) 入会式（入学式）

日 時	平成31年 4 月 3 日(水)					
場 所	学内					
入 会 者	栄養大	健康栄養学部	43名			
	米短大	国語国文学科	129名	英語英文学科	66名	
		日本史学科	57名	社会情報学科	62名	
						合計357名

協議事項 代議員の選出

(2) 理事会

日 時	令和元年6月19日（水） 15:00～
場 所	学内教室
協議事項	総会付議案件・会長、副会長等の推薦・顧問の推薦

(3) 総 会

日 時	令和元年6月19日（水） 16:00～
場 所	学内会議室
協議事項	平成30年度事業実績報告及び収支決算（案） 令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案） 理事及び監事の選任 顧問の選任 寄付について

令和元年度 山形県公立大学法人教育振興会 一般会計収支決算

表2

〈収入の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
会費	会費	16,505,000 7,580,000	16,445,000 7,545,000	△ 60,000 △ 35,000	栄養大(1～4年)： @10,000×171名 短大(1、2年)： @10,000×581名 半期休学者等： @5,000×5名
	入会金	8,925,000	8,900,000	△ 25,000	@25,000×356名(栄43、短313)
保険	陸上競技部	640,000	602,372	△ 37,628	職員の保険料個人負担分
前年度繰越金		883,419	883,419	0	H30年度からの繰越金
諸収入		581	64	△ 517	預金利子等
合 計		18,029,000	17,930,855	△ 98,145	

〈支出の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
運営総務費	会議費	3,450,000	3,268,906	△ 181,094	総会・理事会等
	職員旅費	150,000	112,400	△ 138,760	職員(書記)賃金等
	旅費	2,600,000	2,630,029	30,029	総会出席旅費等
	旅需用費	100,000	53,000	△ 47,000	
	需用費	50,000	32,400	△ 46,760	
	会報発行費	400,000	458,643	58,643	会報の発行及び郵送料
	総務諸費	150,000	112,754	△ 37,246	諸会議負担金、振込手数料等
教育振興費	進路指導費	10,100,000	8,639,592	△ 1,460,408	キャリア支援講座、就職支援員の配置等
	教務指導費	6,200,000	5,810,195	△ 389,805	賠償責任保険、実習関係助成等
	学生自治会費	1,200,000	1,236,699	36,699	大学祭への助成
	教育振興諸費	800,000	800,000	0	卒業記念品関係、バス回数券購入助成等
	教育振興諸費	1,900,000	792,698	△ 1,107,302	※予算比減は卒業式の縮小等に伴うもの
体育協力費	総体参加費	450,000	174,279	△ 275,721	選手参加旅費
	総体参加諸費	200,000	27,635	△ 172,365	体育連盟費負担
	総体参加諸費	250,000	146,644	△ 103,356	
大学施設等支援費	入試等支援	550,000	435,980	△ 114,020	オーブンキャンパス開催支援
	広報・公聴支援	330,000	313,648	△ 36,352	学園都市推進協議会、広告料等
		200,000	122,332	△ 77,668	
特別会計繰出金	特別会計繰出金	3,379,000	3,379,000	0	
予備費	予備費	100,000	0	△ 100,000	
		100,000	0	△ 100,000	
合 計		18,029,000	15,897,757	△ 2,131,243	

(収入合計) - (支出合計) 17,930,855円 - 15,897,757円 = 2,033,098円 (令和2年度～繰越)

令和元年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支決算書

表3

科目	期首残高	期中積立額	期中取崩額	期末残高	摘 要
積立金	13,985,374	1,193	1,526,000	12,410,567	市内の金融機関4行に定期預金として預入

新規積立 0円
利息 1,193円

令和元年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支決算

表4

〈収入の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
施設拡充費	施設拡充費	4,000,000	4,000,000	0	短大施設拡充寄附金@10,000×314名 栄大施設拡充寄附金@20,000×43名
繰入金	一般会計繰入金	4,905,000	4,905,000	0	
	積立金繰入金	3,379,000	3,379,000	0	
	積立金繰入金	1,526,000	1,526,000	0	
繰越金	前年度繰越金	23,017	23,017	0	30年度からの繰越金
	前年度繰越金	23,017	23,017	0	
諸収入	雑入	983	17	△ 966	預金利子等
	雑入	983	17	△ 966	
合 計		8,929,000	8,928,034	△ 966	

〈支出の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
大学整備費	整備拡充費	8,829,000	8,316,206	△ 512,794	多目的利用室などへの冷房設置
	環境整備費	1,950,000	1,899,504	△ 50,496	トシエゾ機器リース
	図書整備拡充費	1,450,000	1,296,628	△ 153,372	学内樹木雪囲い等
	記念資料室運営費	4,929,000	4,632,891	△ 296,109	学生希望図書購入等
		500,000	487,183	△ 12,817	企画展開催支援、消耗品購入等
積立金	積立金	0	0	0	
予備費	予備費	100,000	0	△ 100,000	
	予備費	100,000	0	△ 100,000	
合 計		8,929,000	8,316,206	△ 612,794	

(収入合計) - (支出合計) 8,928,034円 - 8,316,206円 = 611,828円 (令和2年度～繰越)

令和元年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支決算

表5

〈収入の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
繰入金	繰入金	0	0	0	
繰越金	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	30年度からの繰越金
	貸付金回収収入	0	0	0	
	奨学金回収収入	0	0	0	
合 計		4,497,630	4,497,630	0	

〈支出の部〉					単位：円
大科目	小科目	予算額	決算額	増減	摘 要
貸付金		3,600,000	0	△ 3,600,000	
	奨学金貸付金	3,600,000	0	△ 3,600,000	
事務費	事務費	300,000	0	△ 300,000	
	事務費	300,000	0	△ 300,000	
予備費	予備費	597,630	0	△ 597,630	
	予備費	597,630	0	△ 597,630	
合 計		4,497,630	0	△ 4,497,630	

(収入合計) - (支出合計) 4,497,630円 - 0円 = 4,497,630円 (令和2年度～繰越)

監 査 報 告 書

令和元年度山形県公立大学法人教育振興会の会計監査を実施したところ、業務、帳簿・証拠書類等適正に執行されていたことを報告いたします。

令和2年6月12日

山形県公立大学法人教育振興会

監事 山本 富雄
監事 永峯 美千代
監事 小林 文雄

令和2年度 山形県公立大学法人教育振興会 事業計画

表6

1. 事業等
 - (1) 就職・編入学支援関係事業
 - ・就職支援員の配置
 - ・就職・編入学対策講座等の開設支援（講座の講師謝金負担等）
 - (2) 学生への助成
 - ・就職・編入学、国家試験（管理栄養士）関連図書への購入
 - ・各種試験（公務員試験、管理栄養士国家試験対策模試）の受験経費への助成
 - ・スポーツ大会（全国・東北）への参加経費への助成
 - (3) オープンキャンパス（夏）開催への支援
 - ・参加生徒との交流（懇談）にわたる経費の支出
 - ・短期大学オープンキャンパス ※開催日等調整
 - ・栄養大学オープンキャンパス ※同上
 - (4) 教育振興会会報の発行 年4回発行
 - (5) 図書等の購入、環境整備拡充
 - ① 学生及び学科の希望する図書の購入
2. 会議等
 - ・理事会・総会の開催（書面）
 - ※入会式（入学式時）は中止

山形県公立大学法人教育振興会一般会計収支予算令和2年度

表 7

(収入の部)					単位：円
大科目	小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘 要
会費	会費	15,375,000	16,505,000	△ 1,130,000	〔 @10,000×170名(済大) @10,000×585名(船大) 〕
		7,550,000	7,580,000	△ 30,000	
	人 会 金	7,825,000	8,925,000	△ 1,100,000	〔 @25,000×313名(※42・短271) ※人学生のみ 〕
保 険	料 金	640,000	640,000	0	職員の保険料個人負担分
前 年 度 繰 越 金		2,033,098	883,419	1,149,679	元年度からの繰越金
諸 収 入		902	581	321	預金利子等
合 計		18,049,000	18,029,000	20,000	

〈支出の部〉

大科目	小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘 要
運営総務費	会議費	3,500,000	3,450,000	50,000	総会・理事会等
	職員旅需用費	50,000	150,000	△ 100,000	書記賞金等（法人に準じて改定）
	旅需用費	2,800,000	2,600,000	200,000	会議等
	会報発行費	20,000	100,000	△ 80,000	事務用品、印刷経費等
	会報発行費	30,000	50,000	△ 20,000	会報の発行及び郵送料
教育振興費	総務諸費	450,000	400,000	50,000	諸会議員負担金、振込手数料等
	総務諸費	150,000	150,000	0	
	進路指導費	10,300,000	10,100,000	200,000	
	教務指導費	6,400,000	6,200,000	200,000	
	学生自治会費	1,200,000	1,200,000	0	
体育協力費	教育振興諸費	800,000	800,000	0	
	教育振興諸費	1,900,000	1,900,000	0	
	総体参加費	350,000	450,000	△ 100,000	
	総体参加諸費	150,000	200,000	△ 50,000	
	総体参加諸費	200,000	250,000	△ 50,000	
大卒活性化事業支援費	入試支援	300,000	550,000	△ 250,000	オーブンキャンパス開催支援等 学園都市推進、広告掲載等
	入試支援	100,000	350,000	△ 250,000	
	公聴・広報支援	200,000	200,000	0	
	特別会計繰出金	3,499,000	3,379,000	120,000	
	特別会計繰出金	0	0	0	
子 備 費	子 備 費	100,000	100,000	0	
	子 備 費	100,000	100,000	0	
合 計		18,049,000	18,029,000	20,000	

令和2年度山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(施設拡充費)収支予算

表 8

(収入の部)					単位：円
大科目	小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘 要
施設拡充費		3,550,000	4,000,000	△ 450,000	栄養大施設拡充寄附金 @20,000×42名 短大施設拡充寄附金 @10,000×271名
繰入金	施設拡充費	3,550,000	4,000,000	△ 450,000	
	一般会計繰入金	5,117,000	4,905,000	212,000	
	積立金繰入金	3,499,000	3,379,000	120,000	
		1,618,000	1,526,000	92,000	
繰越金		611,828	23017	588,811	
	前年度繰越金		23017	588,811	元年度からの繰越金
諸収入		172	983	△ 811	
		172	983	△ 811	預金利子等
合 計	雑入金	9,279,000	8,929,000	350,000	

〈支出の部〉

大科目		小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘 要
大学整備費			82,79,000	88,29,000	△ 550,000	
		整備拡充費	1,400,000	1,950,000	△ 550,000	バリアフリー化の推進（自動ドア設置）
		環境整備費	1,450,000	1,450,000	0	トイレニンジク機器リース、学内閉水管理、等
		図書整備拡充費	4,929,000	4,929,000	0	学生希望図書、電子書籍等
		記念史料整理拡充費	500,000	500,000	0	企画展運営及び資料整理経費等
積立金	積立金		0	0	0	
子備費	子備費		1,000,000	100,000	900,000	
			1,000,000	100,000	900,000	新型コロナウイルス対策経費等
合計			9,279,000	8,929,000	350,000	

令和2年度 山形県公立大学法人教育振興会 特別会計(積立金)収支予算

表9

単位：円				
科目	期首残高	期中積立額	期中取崩額	期末残高
積立金	12,410,567	0	1,618,000	10,792,567
	市内の金融機関に行き定期預金として預入 (利息分の戻入を計上)			

令和2年度 山形県公立大学法人教育振興会 奨学金貸付特別会計収支予算

表10

(収入の部)					単位：円
大科目	小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘 要
繰入金	繰入金	0	0	0	
繰越金	前年度繰越金	4,497,630	4,497,630	0	元年度からの繰越金
貸付金回収収入	奨学金回収収入	0	0	0	
合 計		4,497,630	4,497,630	0	

〈支田の部〉

大科目		小科目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘要
貸付金	奨学金貸付金		3600,000	3600,000	0	60万円(限度額)×6名
			3600,000	3600,000	0	
事務費	事務費		300,000	300,000	0	切手、郵送料等
			300,000	300,000	0	
子備費	子備費		597,630	597,630	0	
			597,630	597,630	0	
合計			4,497,630	4,497,630	0	

令和2年度 本会役員・代議員名簿（敬称略）

会 長	八嶽恵理子（2年保護者）
江口 康祐（2年保護者）	坂野 剛（2年保護者）
副会長	松田 貴博（2年保護者）
新野 繁実（1年保護者）	高橋 義郎（2年保護者）
鈴木 裕美（1年保護者）	袴田 弘文（2年保護者）
高橋 永行（図書館長）	石塚 英人（2年保護者）
理事	本間 恭啓（2年保護者）
山口 隆（4年保護者）	折原 俊文（1年保護者）
戎谷 祐（3年保護者）	和賀 育栄（1年保護者）
宮本 秀行（2年保護者）	上野まゆみ（1年保護者）
戸田 友美（2年保護者）	丸山 貴史（1年保護者）
渡部利加子（2年保護者）	佐藤 朝香（1年保護者）
鈴木 敏洋（1年保護者）	長谷川 岳（1年保護者）
梅津 敏也（1年保護者）	渡部裕美子（1年保護者）
金光 秀子	渋谷佐智雄（1年保護者）
（栄養大学生部長 兼 栄養大 キャリア支援センター長）	若松 岩雄（1年保護者）
松井 真人	須貝 武（1年保護者）
（米短大学生部長 兼 米短キャ リア支援センター長）	峯田 久子（1年保護者）
佐藤佳奈江（事務局長）	菅原 洋（1年保護者）
監 事	渡部 裕（1年保護者）
永峯美千代（2年保護者）	大和田浩子
富樫 圭子（1年保護者）	（栄養大健康栄養学部長）
亀ヶ谷雅彦	蘭部 寿樹
（米短社会情報学科長）	（米短副学長）
代議員	佐々木紀一
佐藤 正一（4年保護者）	（米短国語国文学科長）
佐藤 浩（4年保護者）	阿部 隆夫
佐藤 訓夫（3年保護者）	（米短英語英文学科長）
佐藤 由治（3年保護者）	吉田 敏
白田 和美（2年保護者）	（米短日本史学科長）
曾根原良一（2年保護者）	幹 事
川崎 里美（2年保護者）	菊川 和宏（事務局員）
北原美保子（2年保護者）	會計
塩野 一広（2年保護者）	浜田 憲人（事務局員）
重野 紀子（2年保護者）	書記
	鈴木 郁子（事務局員）

新入生アンケート結果

より魅力ある大学にするためにどのような点に力を入れていくべきかアンケート調査を行いました。その一部をお知らせします。

【栄養大】

● 本学について知れたかった情報（複数回答可）

「学部学科の特色」が26名、以下「授業内容」25名、「取得できる資格」21名、「学生生活」19名、「就職内容」12名、「大学の周辺環境」9名、「サークル関係」9名と続きます。

● 本学を知った手段（複数回答可）

「オープンキャンパス」が26名、以下「高校の先生」14名「広告媒体（パンフレット・HPなど）」12名「家庭親戚」9名「入試相談・説明会」5名と続きます。

● 卒業後の進路希望

「施設や病院に就職したい」が17名、以下「公務員や教員になりたい」10名、「まだ決まっていないこれから考える」7名「資格と関係のある民間企業に就職したい」6名と続きます。

● 志望理由（複数回答可）

「専門的な資格・免許を取得したい」が21名、以下「専攻分野に興味があった」18名、「大学の教育内容に魅力があった」4名、「将来関係分野への就職に有利」4名と続きます。

【短大】

● 第一志望の状況

一般入試で入学した学生72名のうち、国公立4大（文理系）を第二志望としたものは48名（66.7%）であり、昨年より17.9ポイント減少しています。

● 本学を知った手段（複数回答可）

「高校の先生から紹介」が14.1名で最多（前年度17.0名（第1位））。以下、「本学ウェブサイト」12.6名、「大学案内」10.2名、「家族・友人から」7.7名、「進学系ウェブ」4.2名、「先輩から」2.9名と続きます。

● 卒業後の進路希望

全体では、37.5%が就職、35.3%が4年制大学への編入学と回答しており、学科別では編入学の割合が高いのは英語英文（52.0%）、社会情報（35.1%）の順となっています。

● オープンキャンパスへの参加

54.6%の学生が参加しており、昨年度に比べて9.4ポイント上昇しています。

● 志望理由（複数回答可）

「学びたい学科があるから」20.1名、「経費が安いから」14.1名、「資格免許がとれる」13.1名、「編入実績が高いから」9.7名の順となっています。

先輩からのメッセージ



筑波大学
社会・国際総合学類群
英語英文科 卒業
編入学
大久保 桃

皆さんは米沢女子短期大学を卒業後どんな未来を描いていますか。私は編入学の勉強の際、先の見えな長いトンネルに入っているように感じたことがありました。周りが楽しそうに見える、何故自分は苦勞しなければいけないのかと。皆さんの中にはこのコロナ禍で将来が見えなく不安に思う人もあるかもしれません。編入学の勉強を「将来の自分への投資の時間」と考えてみて下さい。将来どんな自分になりたいか、どんな道に進みたいか、を短大時代ほど賢沢に考えられる時間はないはず。興味・関心のま



山形県商工会連合会
日本史学科 卒業
堀米 ひな姫

就職活動を本格的に始めたのは2年生の秋。進路を変更したので周りよりも遅れてスタートしました。自分を見つめ直し私は地域に根づく「祭り」が好きで「祭り」など地域振興の仕事がしたいと考え、それを軸に探した結果、山形県商工会連合会を知りました。内定を戴いた時はとても嬉しく思いました。就職試験に向けては、過去の先輩のデータがなホームページ等で詳しく調べました。一次試験では筆記試験と作文が課されました。広く社会問題についても出題されるので少しの間でも毎日、新聞を読むことは力になりました。



日東ベスト株式会社
米沢栄養大学 卒業
小野 しずか

就職活動を始めたのは3年生の夏でした。就活サイトに登録し、興味のある企業のインターンシップ情報等をチェックし、実際に参加し、会社の事を知ると同時に質問を心掛けました。インターンシップは働いている人の声を直接聞くことができ、自分の顔を覚えてもらうチャンスです。積極的に動くことが大切だと思えます。就職活動が解禁の頃には、各地で開催される企業説明会に出来る限り参加し、情報収集に努めました。様々な企業説明を聞くことで知識が得られ、同業他社も比較でき、自分の方向性もはっきり見えてき

ました。視野を広げてみると良いと思います。また、皆さんにはゼミの先生やキャリア支援センターの方々、小論文・英語の添削の先生方もついていきます。今何をすべきか迷っている人は是非キャリア支援センターに行ってみて下さい。きつと適切なアドバイスを頂きます。キャリア生主催の編入のイベントに参加することもオススメです。有力な情報を得られるのは勿論、編入試験へのモチベーションを高めます。

私は今、編入し学びたい分野を勉強でき、多様な価値観に触れ、刺激的な毎日を過ごしています。短大で頑張った経験こそが何よりも自信になっていると実感しています。長いトンネルのあと、皆さんにもきつと素晴らしい景色が待っています。頑張ってください！皆さんの健闘を心からお祈りしています。

● 二次試験で商工会と商工会議所の違いについて出題されたので、二次の面接対策として商工会議所を受けた先輩のデータを見てどんなことが聞かれるか予想し設問と自分の考えをノートに書き出しました。面接で気をつけたいことは後ろ向きに考えないこと。失敗を考えていると表情まで暗くなります。試験前は成功した自分を想像し笑顔で明るく臨むと良いと思います。今は通常業務に加えて新型コロナウイルス関連の事業をしています。覚えることが多く大変ですが地域の実業主の皆さんの為に日々頑張っています。進路を変更することは不安や焦りがありますが日々学んだことは必ず活かれます。私は筆記試験で助けられました。一つが力になっていくと前向きに考えていけば結果はついてきます。自分の道を見つければるように頑張ってください。

● 一つ後悔があるのは、SPI対策をあまり行えなかった点です。Web上の試験を実施する企業が多くなる中、ぜひ対策本を早めに購入し問題に慣れておくことをお奨めします。現在は無事に管理栄養士として希望する会社に就職し、アレルゲンフリーの製品や介護食品の生産に携わっています。立ち作業も多く大変ですが、自分の携わった製品で誰かを笑顔にしていると思うと、とてもやりがいを感じています。途中で投げ出さず頑張ってきたからこそ今が中と思えます。最後になりましたが、就職活動は不安なことが多く、気持ちが不安定になることもあると思います。一人で抱え込まずにキャリアセンに相談しましょう。積極的に動けば自分の希望する道に進めるはず。コロナ禍で大きな状況が続きますが、応援しています！

《

コロナ禍にて初の遠隔授業 ～1年担任～

》

”今でしょ!”とはいきません

山形県立米沢栄養大学

健康栄養学科

教授 齋藤 和也

録音して聞く自分自身の声はなんとも薄っぺらい。語頭・語尾の聞き取り難いことこの上ない。気を許すとどんだん早口になり最後は舌がはいてゆかない。『えーだの』『マァだの』『あーだの』とにかく無駄が多い。逆に内容は今一つ突っ込み足りない。これまで人前で話す機会はそこそこあった筈だが、これは酷い。最初の遠隔授業用ビデオを作り終えての感想です。

学生の皆さんは、まぐらで一笑いたあとグイグイ学問の世界に引き込まれ、時間を忘れた頃には決めの台詞とポーズで締めくくられる、そんなビデオを期待されたかもしれない。でも、遠隔授業を準備する一教員の舞台裏はこんなもんです。

一か月が過ぎ、鼻の詰まったような声にも、滑舌の悪さにも鈍感になった頃、対面授業再開です。遠隔授業の評価は学生の皆さんに委ねられますが、この新しい方法を緊急時対応に留まらせておくのは惜しい。より積極的な活用方法を!!誰かが考えてくれると一番良いのだけれど。



本学初の遠隔授業の試み

山形県立米沢女子短期大学

国語国文学科A

准教授 後藤 和也

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い実施された遠隔授業。教える側もてんやわんやだったが、学生の皆さんも大変な苦勞を味わったことと思う。特に、「コミュニケーション力を育む」ことが売りのキャリア支援科目は、学生あつてこそその授業。二人苦悩する日々を過ごした。結果的に独自に行った授業後アンケートの結果ではまずまずの及第点の模様。皆さんの優しさと真面目さに感謝しつつ、学びを止めないための仕掛けを今後も考え抜きたいと決意を新たにしている。

国語国文学科B

教授 山本 淳

もとより通信機器の扱いに疎いため、期間中馴れない機械操作に難渋した。スイッチの切り替えを間違え、冒頭20分無声授業になった回もある。受講生には散々迷惑をかけた。それでも、配信動画を参考にしながらの授業の資料づくりには専念した。首都圏の大学では後期もリモート授業が続くという。今回の騒擾が主要因で大学を辞した例さえある。我が方は対面授業が早期に再開した。普通であることの有り難さを感じ。



コロナ禍にて初の遠隔授業

山形県立米沢女子短期大学

英語英文学科

准教授 横山 利夫

4月3日の入学式で、英語英文学科51名の新1年生と対面する予定でした。実際に対面できたのは6月30日の夕方でした。4月と5月は学生は自宅での自主学習、教員は6月から始まるオンライン授業の準備期間。講習会や個人指導になりました。パソコン使用など機器の操作を苦手とする私は、若い職員の方々に何度も研究室に足を運んでいた。オンライン授業で使用するソフトの操作に慣れようと一生懸命努力しました。さて、6月2日、いよいよ本番、第一回目の授業です。「おはようございます。英語担当の横山です。私の声はつきりと聞こえていますか。どなたか教えてください。」ある学生が、「はい、聞こえています。」この言葉にとてもほっとしました。「それでは、学務システムから、出席登録をしてください。数分、時間を取ります。」「先生、登録できません。」「私もできません。」「さて、困った私は事務職員の方に電話して、来ていただきました。授業の前にパスワードを入力し、それを学生に伝える必要があることを知りました。冷や汗をかきました。それから最初の授業を何とか終えましたが、それから大きな失敗もなくオンライン授業を乗り切ることができました。1年生の皆さん一生忘れることができない大学生活が始まりました。二日一日を大切に、有意義な2年間にしてください。



コロナ禍での遠隔授業

図書館のありがたみ

山形県立米沢女子短期大学

日本史学科

准教授 山田 彩起子

遠隔授業は六月一日から一か月間行われ、七月からは予定通りに対面授業がスタートした。対面授業を始められてよかったと特に思うのは、学生が自分で調べたことを報告するゼミ形式の授業である。遠隔授業実施期間は、学生は通学できないので当然大学図書館を利用できない。また、各学生の地域の公立図書館も、閉館していたり利用に著しい制限があったり、という状況であった。そこで卒業研究作成のゼミでは、学生各自の研究テーマに関わる先行研究をPDF文書にして各学生にメール添付送信し、要約と意見をレポートする課題を出した。また、史料講読の授業では、こちらが史料解釈のレジュメを作成し、ノウハウ(史料解釈の際にはどのような本を使っているのか)に調べるか等)を指導した。しかし、何れも長期間続けられるものではない。

遠隔授業実施期間は私にとつて、あるのが当然だと思っていた、学生が調べ物をできる環境のありがたみを痛感させられた期間となった。



新入生の近況報告

山形県立米沢女子短期大学

社会情報学科

教授 伊豆田 義人

今年は、桜の花びらからこぼれる暖かい春陽の下での入学式や恒例の新入生研修旅行がお預けとなり、新入生は鮮やかに輝く新緑の吾妻連峰が見える6月30日に初登校となりました。

翌日から対面授業が始まり、一株の不安を抱えながらもこれまでの時間を取り戻したいという心で、学生と教員が共に張り切つて授業に臨みました。しかし、その1か月前から遠隔授業を行っていたので、お互いに、オンラインではなく実際に接することに戸惑いやちよとした不思議さを感じながら少しずつ授業の感覚を取り戻すのに懸命だったことでした。

また、例年、ゴールデンウィークの頃には、高校生のあどけない雰囲気から大学生の大人びた雰囲気へと変わるのですが、それを今ようやく感じられるようになりました。少人数のゼミ授業や体育の授業の中で共に過ごし、授業の課題作成を助け合うことで、友達の間も日増しに広がっているのが受け取れます。

いきいきと青春を謳歌しながら、学生生活が楽しく送れることを期待しています。



